

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年4月14日
【四半期会計期間】	第55期第1四半期（自 2019年12月1日 至 2020年2月29日）
【会社名】	株式会社キューソー流通システム
【英訳名】	K.R.S.Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西尾 秀明
【本店の所在の場所】	東京都調布市調布ヶ丘三丁目50番地1
【電話番号】	042(441)0711(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理担当 笹島 朋有
【最寄りの連絡場所】	東京都調布市調布ヶ丘三丁目50番地1
【電話番号】	042(441)0711(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役管理担当 笹島 朋有
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第1四半期連結 累計期間	第55期 第1四半期連結 累計期間	第54期
会計期間	自2018年 12月1日 至2019年 2月28日	自2019年 12月1日 至2020年 2月29日	自2018年 12月1日 至2019年 11月30日
営業収益 (百万円)	41,009	42,757	172,185
経常利益 (百万円)	751	456	4,350
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (百万円)	359	52	1,835
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	423	1	2,156
純資産額 (百万円)	38,644	39,743	40,085
総資産額 (百万円)	81,076	86,716	88,175
1株当たり四半期(当期) 純利益 (円)	28.94	4.26	147.71
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	43.8	41.7	41.4

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 営業収益には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が弱含むなかで、製造業を中心に弱さが増しているものの、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、内外経済の下振れリスクが高まり、先行きは厳しい状況となりました。

食品物流業界におきましては、労働需給が一段と逼迫するなか、人手・車両不足への対応、法改正への対応、食の安全・安心に応える物流品質向上への投資など厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは、「持続的成長への挑戦」をテーマに掲げ、「新領域の創出による成長」「機能の強化と拡充」「選ばれる企業価値の創造」の3つを基本方針とした、中期経営計画（2019年度から2021年度）を推進しております。

中期経営計画の2年目となる2020年度は、事業戦略の確実な遂行により、確かな成長をめざす年として、収益力の強化、オペレーションのシンプル化、機能拡充投資、働きやすい職場環境づくりに取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、営業収益は427億57百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は5億73百万円（前年同期比22.3%減）、経常利益は4億56百万円（前年同期比39.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は52百万円（前年同期比85.3%減）となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しておりますので、下記の前年同期比につきましては、前年同期の数値を変更後の報告セグメントの区分に組み替えた数値との比較となっております。

共同物流事業収益は、食品メーカーなどの新規取引や既存取引の拡大により増収となりました。利益面は、営業収益増加による利益増に加え、適正料金の収受および運送業務の合理化などが進捗しましたが、労務費の増加や省人化機器への投資が先行したことなどにより、前年を下回りました。

この結果、共同物流事業収益は283億55百万円（前年同期比4.7%増）となり、営業利益は48百万円（前年同期比84.6%減）となりました。

専用物流事業収益は、チェーンストアなどの新規取引や既存取引の拡大により増収となりました。利益面は、人材確保にともなう労務費などの増加影響を受けたものの、営業収益増加による利益増および適正料金の収受などが進捗しました。

この結果、専用物流事業収益は128億47百万円（前年同期比3.7%増）となり、営業利益は3億81百万円（前年同期比24.9%増）となりました。

関連事業は、車両販売台数が減少したものの、施設工事や燃料販売が前年を上回りました。

この結果、関連事業収益は15億54百万円（前年同期比0.1%増）となり、営業利益は1億35百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

(2) 財政状態

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億59百万円減少し、867億16百万円となりました。資産の減少の主な要因は、現金及び預金の増加1億36百万円はありましたが、受取手形及び営業未収入金の減少12億94百万円、投資有価証券の減少2億68百万円および有形固定資産の減少1億54百万円などによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億16百万円減少し、469億72百万円となりました。負債の減少の主な要因は、短期借入金の増加22億50百万円はありましたが、支払手形及び営業未払金の減少13億30百万円、未払費用等の減少による流動負債その他の減少11億16百万円および未払法人税等の減少6億57百万円などによるものであります。

また、純資産合計は前連結会計年度末に比べ3億42百万円減少し、397億43百万円となりました。純資産の減少の主な要因は、利益剰余金の減少2億32百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億64百万円などによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	36,600,000
計	36,600,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年2月29日)	提出日現在発行数(株) (2020年4月14日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	12,677,900	12,677,900	株式会社東京証券取引所 (市場第一部)	・権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 ・単元株式数100株
計	12,677,900	12,677,900	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(百万円)	資本金残高(百万円)	資本準備金増減額(百万円)	資本準備金残高(百万円)
2019年12月1日～ 2020年2月29日	-	12,677,900	-	4,063	-	4,209

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年11月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 249,400	-	権利関係に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,424,400	124,244	同上
単元未満株式	普通株式 4,100	-	同上
発行済株式総数	12,677,900	-	-
総株主の議決権	-	124,244	-

【自己株式等】

2020年2月29日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社キューソー流通システム	東京都調布市調布ヶ丘三丁目50番地1	249,400	-	249,400	1.97
計	-	249,400	-	249,400	1.97

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表について、EY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,890	4,026
受取手形及び営業未収入金	21,090	19,796
商品	82	89
貯蔵品	124	137
その他	1,606	1,659
貸倒引当金	129	129
流動資産合計	26,665	25,580
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,235	11,132
機械装置及び運搬具(純額)	12,129	12,151
工具、器具及び備品(純額)	1,252	1,220
土地	21,808	21,808
リース資産(純額)	2,267	2,151
建設仮勘定	2,637	2,712
有形固定資産合計	51,330	51,176
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	2,264	1,995
敷金及び保証金	4,136	4,130
その他	2,647	2,755
貸倒引当金	52	52
投資その他の資産合計	8,994	8,828
固定資産合計	61,509	61,136
資産合計	88,175	86,716

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	14,790	13,459
短期借入金	4,274	6,524
未払法人税等	917	259
賞与引当金	938	912
役員賞与引当金	66	18
その他	8,642	7,525
流動負債合計	29,630	28,701
固定負債		
長期借入金	14,249	14,217
退職給付に係る負債	702	619
資産除去債務	967	968
その他	2,540	2,465
固定負債合計	18,459	18,271
負債合計	48,089	46,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,063	4,063
資本剰余金	4,208	4,208
利益剰余金	28,776	28,543
自己株式	361	361
株主資本合計	36,686	36,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	677	513
繰延ヘッジ損益	7	7
為替換算調整勘定	67	78
退職給付に係る調整累計額	884	845
その他の包括利益累計額合計	146	261
非支配株主持分	3,545	3,550
純資産合計	40,085	39,743
負債純資産合計	88,175	86,716

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
営業収益	41,009	42,757
営業原価	39,040	40,946
営業総利益	1,968	1,810
販売費及び一般管理費	1,230	1,237
営業利益	738	573
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	9	4
受取賃貸料	14	15
補助金収入	2	0
デリバティブ評価益	7	-
その他	22	21
営業外収益合計	58	42
営業外費用		
支払利息	26	28
貸与設備諸費用	11	11
持分法による投資損失	3	7
デリバティブ評価損	-	7
未稼働設備関連費用	-	97
その他	2	6
営業外費用合計	44	159
経常利益	751	456
特別利益		
固定資産売却益	4	8
特別利益合計	4	8
特別損失		
固定資産除売却損	25	13
リース解約損	-	0
特別損失合計	25	14
税金等調整前四半期純利益	730	451
法人税、住民税及び事業税	288	246
法人税等調整額	7	72
法人税等合計	281	318
四半期純利益	449	133
非支配株主に帰属する四半期純利益	89	80
親会社株主に帰属する四半期純利益	359	52

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
四半期純利益	449	133
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	52	182
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	7	12
退職給付に係る調整額	34	39
その他の包括利益合計	25	131
四半期包括利益	423	1
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	337	61
非支配株主に係る四半期包括利益	86	63

【注記事項】

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
減価償却費	973百万円	1,054百万円
のれんの償却額	13百万円	11百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年2月22日 定時株主総会	普通株式	273	22.0	2018年11月30日	2019年2月25日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年2月21日 定時株主総会	普通株式	285	23.0	2019年11月30日	2020年2月25日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年12月1日至2019年2月28日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	27,069	12,386	1,553	41,009	-	41,009
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	2,168	226	1,067	3,462	3,462	-
計	29,237	12,613	2,621	44,472	3,462	41,009
セグメント利益	313	305	110	729	8	738

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2019年12月1日至2020年2月29日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	共同物流 事業	専用物流 事業	関連事業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	28,355	12,847	1,554	42,757	-	42,757
セグメント間の内部営業収益又は 振替高	2,520	237	1,161	3,920	3,920	-
計	30,876	13,084	2,716	46,677	3,920	42,757
セグメント利益	48	381	135	565	7	573

(注)1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の経営管理体制の変更に伴い、一部の子会社については、報告セグメントを「共同物流事業」から「関連事業」に変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメント区分で記載しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年2月29日)
1株当たり四半期純利益	28円94銭	4円26銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	359	52
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	359	52
普通株式の期中平均株式数(千株)	12,428	12,428

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年4月14日

株式会社キューソー流通システム

取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 福原 正三 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐久間 佳之 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社キューソー流通システムの2019年12月1日から2020年11月30日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年12月1日から2020年2月29日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社キューソー流通システム及び連結子会社の2020年2月29日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。